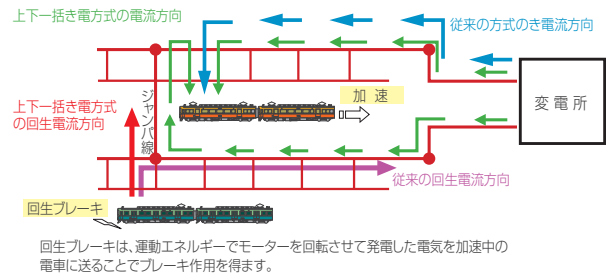


電力設備の省エネルギー化

● 上下線一括き電

架線を改良し、省エネルギー化を図っています。上下き電線をジャンパ線で接続することで、各き電線に流れる電流は半分になり、電線抵抗により消費される電気も半分に軽減され電力損失を抑えることができます。また、回生ブレーキで発生した電気もジャンパ線を経由することにより加速中の列車に最短で送られるため電力損失を抑えることができます。

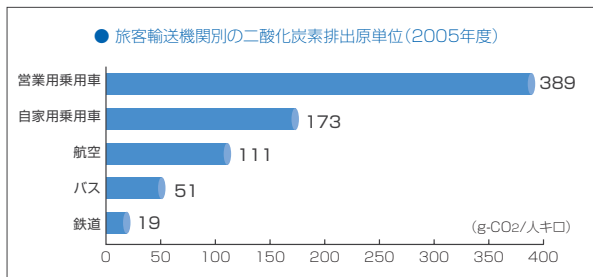


地球温暖化防止の取り組み（公共交通利用の促進）

■ 鉄道の環境優位性

鉄道は環境にやさしい交通手段といわれており、一人運ぶためのCO₂排出量はマイカーの10分の1とされています。（※下図参照）

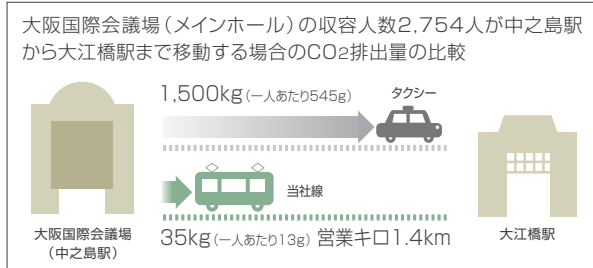
鉄道の環境優位性をPRし、マイカーによる移動を減らし、鉄道をご利用いただくことは、CO₂削減への大きな取り組みといえます。当社は平成19年、環境活動の重点実施項目に「公共交通利用促進」を加え、地球環境のためにも、公共交通の利用を促進していきます。



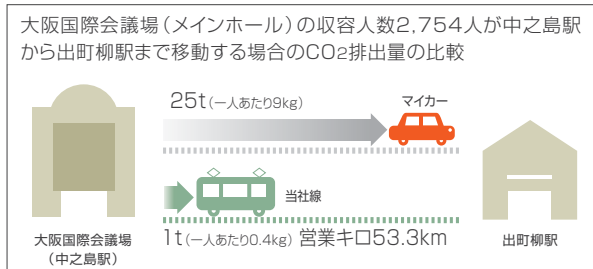
▲「運輸・交通と環境2007年版」(交通エコロジー・モビリティ財団より)

例えばマイカーと当社線(新型車両3000系乗車の場合)利用のCO₂排出量の差は以下のように試算されます。(当社比較)

■ ケース1



■ ケース2



※中之島駅から出町柳駅への自動車使用は直線距離にて計算
 ※当社線は定員乗車にて計算
 ※タクシー、マイカーのデータは、交通エコロジー・モビリティ財団「運輸・交通と環境2007年版」による
 ※中之島線(中之島駅、渡辺橋駅、大江橋駅、なにわ橋駅)は平成20年10月開通予定

■ パーク&ライド

当社では、京都方面に訪れる観光旅客のパーク&ライドを行政機関と協働して取り組んでいます。とりわけ京都東山地区には、年間約1,500万人の方が来訪されますが、特に秋の行楽シーズンの休日に集中するため、周辺道路は大渋滞し、バスの遅延や緊急自動車の通行が困難になるなど地域交通問題となっています。

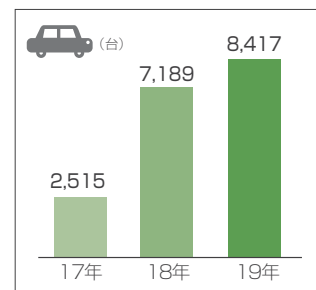
そこで、大津市の浜大津公共駐車場や沿線の臨時駐車場を掲載したパンフレットを高速道路PAなどで配布し、マイカー利用者がパーク&ライドに移行することで、京都市内の渋滞緩和と公共交通利用促進による環境負荷の低減に努めています。

また、平成19年11月には東山交通対策研究会による平成19年度パーク&ライドに参画しました。



◀ 京都東山周辺道路の渋滞

■ 浜大津パーク&ライド利用者の推移



▲ パーク&ライド広告